

鯉のぼり

♩=96 F C 曲 弘田龍太郎

1・2 3・4 5・4 3・4 2・4 3 0 1・2 3・4 3 1 2 0

1 いーらーか の なーみーと くーもーの な み
2 ひーらーける ひーろーき そーのーく ち に

1・2 3・4 5・4 3・4 2・4 3 0 1・2 3・4 5 6 5 0

かーさーな る なーみーの なーかーぞ ら を
ふーねーを も のーまーん さーまーみ え て

3 3 3・2 1・3 2・1 6 0 5 1 2 1 2 3 0

た ち ば な かーおーる あ さーか ぜ に
ゆ た か に ふーるーう お びーれ に は

6 5 4 3・4 2・4 3 1 5 1 2 3・2 1 0

た か く おーよーぐ や こ いーの ぼ り
も の に どーうーぜ ぬ す がーた あ り

鯉のぼり

作詞不詳 作曲・弘田龍太郎

一 麓（いらか）の波と雲の波、
重なる波の中空（なかぞら）を、
橘（たちばな）かおる朝風に、
高く泳ぐや、鯉のぼり。

二 開ける広き其の口に、
舟をも吞（の）まん様見えて、
ゆたかに振（ふる）う尾鰭（おひれ）には、
物に動ぜぬ姿あり。

三 百瀬（ももせ）の滝を登りなば、
忽（たちま）ち竜になりぬべき、
わが身に似よや男子（おのこ）と、
空に躍（おど）るや鯉のぼり。